

読む人の幸せを心に願って作る

喜びの タネまき 新聞 No.590

ライトアップされた旧門司税関〈福岡県〉

明治から昭和初期まで税関庁舎として使われていた赤煉瓦の建物。平成6年に修復され、レトロモダンな建築物として生まれ変わりました。付近一帯は毎年11月から2月にかけて建物のライトアップが行われ、幻想的な雰囲気に包まれます。



イラスト：歎崎 花鈴

※イラストはイメージです

チーズや玉子をのせてオープンで焼いた「焼きカレー」。門司港発祥のご当地グルメとして親しまれています。

〈地域貢献〉

私は全国各地を訪問し、地域で活動するダスキンの加盟店オーナーや、商品・サービスをお届けするお客様係と対話をしています。その時に、仕事の話だけではなく、地域社会への取り組みについて話を伺う機会もあり、勉強になることがたくさんあります。

加盟店オーナーの多くは、その地で生まれ育ったことへの恩返し
の気持ちで、ダスキンの仕事に加
えて、地域の行事やお役を担い、
色々な活動をされています。

例えば、「少子高齢化」や「人口
減少」などが大きな課題となっ
ている地域では、地域活性化のため
の町おこしイベントの企画や、雇
用を促進するためのプロジェクト
委員を務めるなど、地域社会の
ために活躍されています。

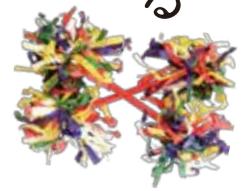
私自身も、一住民として地域の
方々のサポートによって安心して
暮らしているため、地域への恩返
しをしたいと思います。ですが、
私が地域に貢献できているのか
と考えると、ほとんど出ていない
ように思います。しかし、地域
の行事やお祭りを企画された
方々に感謝しながらそれらのイ
ベントに参加することも地域貢
献の一つだと思い、できる限り参
加するようにしています。

これからも、多くの方のご指導
やご支援があり今日を迎えられ
ていると感謝しながら、地域の皆
様とのつながりを大切にしていき
たいと思います。

株式会社ダスキン社長

山村輝治

小さな漁師町に伝わる 風流な女性の祭り



三浦産の竹に和紙や鈴をつけた
手作りの綾竹



日本は
ひろいな
おいしいな

途絶えることなく続く 女性たちによる民俗芸能

「女正月」である1月15日の早朝、漁業の町として知られる三崎の町に少女たちの「おめでとう」の声とともに、女性たちの祝唄が響き渡ります。笛も太鼓も使わず素唄と囃し言葉だけの素朴な唄にあわせ、晴れ着姿の少女たちが舞扇や綾竹を



少女らの後ろでは音頭取りの方々が唄う。
知る人ぞ知る祭りも、ユネスコへの登録により年々見学者が増加

チャキと聞こえることから名付
けられたそうです。

祭り当日、少女たちは大漁と航海安全を祈願し、地元神社や老舗商店などを巡りながら、辺りが暗くなるまで舞い続けま
す。奉納の舞なので面を上げず、うつむき加減で一心に舞う様子は、風雅でありながらもどこか奥ゆかしく、観る人の心を静かに揺さぶります。

楽譜も教本もなく、 口伝で伝わる唄と踊り

現在、音頭取りと呼ばれる大人の唄い手は10名、少女は4才〜12才までの26名が参加しています。昔は仲崎と花暮地区の漁師の娘だけと限られていたそうですが、今は近隣の少女たちも参加しています。15日が近づくこと皆が集まり、練習の毎日。綾竹の扱い方や舞は、年上の少女の踊りを見よう見まねで覚えるのだそうです。ペテランの音頭取りの青木フミ子さんと吉永明美さんは、「唄も口伝なので、楽譜はありません。私たちは年長者に教えられたものを唄い覚え、また次の世代に伝えていくだけです」と気負いなく語ってくれました。「ユネスコの無形文化遺産だから受け継ぐ」のではなく、昔からこの町に脈々と伝わる伝統を守り、三崎に暮らす人たちを思つて唄うという、漁師町に生きる女性らしい心

意気を感じられます。そして、その心意気のバトンは娘や孫に渡され、青木さんも以前はお孫さんとともに参加されたのだそう。青木さんのように、母、娘、孫と引き継ぎながら参加する人が多いのもチャッキラコの特長です。「昔は同じような祭りが各地にあったようですが、多くが途絶えて今では三崎の祭りがとても希少なものになりました。口伝なので時代を経て変化している部

分もあるかもしれません。でも、根源的な部分はずっと受け継がれていく。まさに『生きていく祭り』でしようね」と保存会事務局長の飯島重一さんは語ります。漁師町の人々の思いが込められた、三浦三崎のこの御踊り、千秋楽々おめでたや「イヤーチャンチャン、コリヤーチャンチャン」の唄声と綾竹の音色は、来年もまた三崎の海に響くことでしょう。

神奈川の 郷土料理

家庭料理の定番ですが、元々は建長寺の僧が作ったのが始まりと伝わる精進料理。「建長汁」がなまつて「けんちん汁」となったという説もあるそうです。体を温める根菜類をたっぷり使った、冬にこそ食べたい一品です。

けんちん汁の作り方



材料(4人分)

- ゴボウ.....1/2本
- レンコン.....1節
- ニンジン.....小1本
- 大根.....1/4本
- 小松菜.....1/3本
- 干しシイタケ.....4枚
- コンニャク.....1/2丁
- 木綿豆腐.....1/2丁
- 昆布(出汁用).....10cm角1枚
- 醤油.....大さじ3
- ごま油.....適量

※薄味仕上げなので味の濃さはお好みで調整してください。

作り方を教えてくれた人



「鎌倉 不識庵」精進料理研究家
藤井 まりさん

精進料理に携わって30年以上という経験を生かし、料理塾「禅味会」を主宰。作り方だけでなく精進料理の歴史や意義なども伝えながら、国内外で活躍中。

5



最後に小松菜を入れて、さつとひと煮したらできあがり。

4



野菜が煮えたら一旦火を止めて10分程休ませる。水気を切った豆腐を手で揉みつぶしながら入れ、残りの醤油を加えて味を調える。

3



シイタケの戻し汁と昆布で取った出汁を、野菜がひたひたに浸るまで入れ、アクを取りながら強火で煮る。

2



ごま油でシイタケを炒めて香りを出し、固い野菜から加えていく。醤油大さじ1で下味をつける。

1



干しシイタケは水で戻し、そぎ切りに。小松菜は2cm程、他の野菜は乱切りにする。シイタケの戻し汁は出汁として使用。

えがおで暮らせば

第十八話

一年の終わりに

普段通り過ごすために

早いもので、今年もあとわずかとなりました。12月はクリスマスなどの行事がたくさんあって楽しい反面、やる事が多くて気持ちが焦ってしまいますよね。私は年の瀬もなるべく普段通り過ごしたいので、毎年12月が来るたびに「まだ11月!」と思いつくようにしています。ですから、私の中には12月がありません。おかしなもので、自分にそう言い聞かせることで不思議と心に余裕ができるのです。

先にできる準備から

おせち料理の買い出しも、直前になってバタバタしなくてもいいようにいつも早めに済ませます。黒豆や根菜、乾物、調味料などは日持ちがしますので、何かのついでの時に買っておきます。

そして、少しずつ準備を開始。まずは黒豆や筑前煮、きんとん、炒め



黒豆や筑前煮など作り置きできる料理は、時間がある時にコトコト煮込んでおく

がもの。それに、食べることで豊かな気持ちになれたのだから良しとしよう」という具合です。

年の瀬に思うこと

一年なんてあっという間と感じたりもしますが、年末に一年を振り返ると、たくさんの方が思い出されます。たとえば、「今年こそ家計簿をつけよう」と決意したのに途中でやめてしまったことなど。でも、私はそんな反省をプラスに切り替えるのが得意です。「家計簿をつけなかったせいで少し食費がかさんでしまったけれど、食事は家族の健康につな

一年を振り返って

一年なんてあっという間と感じたりもしますが、年末に一年を振り返ると、たくさんの方が思い出されます。たとえば、「今年こそ家計簿をつけよう」と決意したのに途中でやめてしまったことなど。でも、私はそんな反省をプラスに切り替えるのが得意です。「家計簿をつけなかったせいで少し食費がかさんでしまったけれど、食事は家族の健康につな

今年3世帯(娘家族と息子家族)で暮らすようになって2回目の年末になります。我が家の大晦日は、家族9人全員で夕食を食べて賑やかに過ごすのが定番。主人がお蕎麦を打ってくれますので、一年の締めくくりにはみんなで年越しそばをいただき、今年も何事もなく家族が平穩に「過ごせたことに心から感謝するのです。そう考えると、私が一年の終わりに思うことは一日の終わりに思うことと同じですね。

日々を平穩に過ごすことは簡単なようで難しく、また素晴らしいことだと感じています。家の中でもいつも誰かの足音が聞こえたり、どこかに人の気配を感じたり。家族や大切な人と互いに頼り、頼られる暮らしは、何よりもかけがえのない幸せではないでしょうか。



普段通りにソファでくつろぐ時間も大切



日持ちのする材料は事前におき、少しずつ準備

より子さんのノート

家族からのお手紙ファイル

坂井さんは、お子さんやお孫さんからもらった手紙や小さなメモ書きなどを大切に保管されています。時系列順にファイルして、空いた時間に眺めて楽しむのだそう。改めてページをめくれば色々な出来事を振り返ることができる、素敵なアイデアです。



坂井より子さん

1946年生まれ。神奈川県葉山町在住。主婦歴40年の経験を生かした、やさしい家庭料理の伝授と暮らしの知恵を交えた語りが好評を博し、さまざまな世代の女性から人気を集める。近年、親子教室などで若いお母さんたちの支えとなる活動も行っている。著書に「受け継ぐ暮らし」「暮らしをつむぐ」(技術評論社)。



3世帯の新居で初めての年越し(昨年)



卓球教室

福岡県飯塚市 早川 昭子さん



卓球教室

福岡県飯塚市 早川 昭子さん

いつの日からかはわかりませんが、家の前の公園で、近所の高校の駅伝選手たちの練習が見られるようになりました。私が近くを通ると大きな声で、「こんにちは！」と全員で一斉に挨拶をしてくれます。

当時6歳の孫が遊びに来ていた時のことです。私たちは、選手たちの「こんにちは」の声に、「こんにちは！」と返しました。その後、黙々と練習する選手たち。私が孫に「ほらっ、頑張ってるよって言ってごらん」と言うと、「だめだよバアチャン、みんな集中してるんだから声かけちゃ」と言われ、ハッとするやらおかしいやら…。その選手たちは県大会で優勝し、全国大会に出場するそうです。



お孫さんの気持ちと一緒に選手たちにエールを！



柚子ジャム

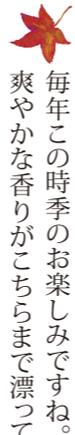
愛媛県喜多郡 大本 悦子さん

今年も柚子ジャムをたくさん作って、隣居の息子、娘家族、職場の同僚、友人に配った。特に実家の母は「あんたの手作りが一番おいしい！」と笑顔で喜んでくれた。

実家の近くにある柚子畑の持ち主が、「今では採る人がいないので、好きだけ採ってください。木のためにも良いのでぜひ」とおっしゃってくれるので、いつもありがたういただいている。

夜には柚子をいくつかお風呂に浮かべて、安らぎながら足のマッサージ。

丸くて黄色くて、たくさんの人を笑顔にしてくれる柚子。作り主さん本当にありがとう！



毎年この時季のお楽しみですね。爽やかな香りがこちらまで漂ってきそう。



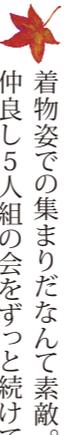
着付けの仲間たち

埼玉県所沢市 青柳 賀代子さん

今から15年ほど前、着付け教室に通ってみることにした。母が仕立ててくれた着物が箆笥に眠っていたので、自分で着られるようになりたいと思ったからだ。そして20人余りの受講生の中で数人、気の合う友達ができた。

教室を辞めた後も、せっかく勉強したことを忘れてしまってもつたいないので、月1回は5人で集まって練習しようということに。必ず着物を着て集まるのが条件だ。

集合したら練習だけでなく、おしゃべりしたりお茶を飲んだり、たまには1泊旅行をしたり…。月に1回、みんなと会えるのが楽しみだ。良い仲間巡りに会えてとても幸せに思っている。



着物姿での集まりだなんて素敵。仲良し5人組の会をずっと続けてくださいね。

燈々無尽

平素から心がけよ

愛があれば、人生は変わる。いざ、という時に、あなたの人柄がわかる。金の出しおしみをやるか？ 親切の出しおしみをやるか？ それとも、思わず知らず、あなたのやってしまったことが、相手の人や、他の多くの人の心を打つ、美しいものであるか？ それは意識せずに表われるのである。平素の考えが大切だ。

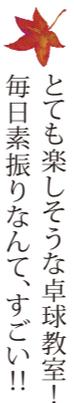
鈴木清一



卓球教室

福岡県飯塚市 早川 昭子さん

70歳を前に思い立ち、近くの公民館で開かれている卓球教室へ通い始めた。子どもが「素振りをするよフォームが決まってるよ」と教えてくれたので、素直に実行。毎日の素振りの成果が、始めた頃より少しは卓球らしくなってきた。卓球教室の先輩に、「元気でチャージングな御年90歳の女性が2人いる。まだまだひよつ子の私は、右に左にと振り回されっぱなしだが、とても楽しい。寒い冬に汗まで流し、体を動かせる喜びを感じている。素敵なお手本のお2人」を見習って、これからも元気に長生きしたいものだ。



とても楽しそうな卓球教室！毎日素振りなんて、すごい！！

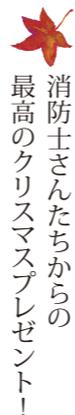


優しい消防士さん

神奈川県座間市 三浦 友子さん

クリスマスに娘夫婦が孫を連れて遊びに来ました。お天気も良かったので、みんなで散歩。近所にある消防署の分署の前を通ったとき、本物の消防車や救急車を前に、車が大好きな孫は「ブー」と言っていて、その場を動かさずとしくなっていました。すると、たまたま近くにいらした消防士さんたちが「よかったですら間近で見える？」と声を掛けてくださったのです。いつも市民を守ってくれている、強くたくましい消防士さんのさりげない優しさに感激しました。

年明けの誕生会で孫と会った時、「消防車を見た人は？」と聞くと、孫は高々とまっすぐ右手をあげて誇らしげな笑顔。将来は消防士さんのように頼りになる優しい人になってね。



消防士さんたちからの最高のクリスマスプレゼント！

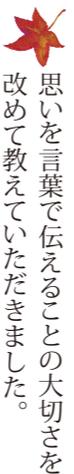


優しい言葉

広島県広島市 島 さゆりさん

実家で暮らしている母が倒れた。幸いにも近所の方が見つけてくださったので、病院に運ばれた。発見が早かったことや病院スタッフの方々のおかげで一命を取り止め、会話が出来るまでに回復した。

よく、何事もいざとなつてみないと大切さはわからないと言っけれど、私も今回のことで改めて母のことが本当に大切なのだとわかった。そのとき以来、母に優しい言葉をかけている。すると母は「なんでそんなに優しいの、何かいい薬を飲んだの？」と冗談を言うので、私はびつくり。「これからはずっと優しくするからね。ごめんね」と言っつと、「うれしいのー。優しい言葉ほどいいものはない」と母。きっと私が優しくなるために、身をもって教えてくれたのだろう。



思いを言葉で伝えることの大切さを改めて教えていただきました。



愛の輪からの「ミニム」障がいのある人、まず知る「こと」から、はじめませんか？



愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。

正しく理解しましょう 障がい者専用駐車スペース

公共施設や店舗などの駐車場にある、障がい者専用駐車スペース。車いすの利用者が自動車へ容易に乗降できるよう、通路で車いすを転回でき、自動車のドアを全開にして乗り降りできる幅が確保されています。「空いているから」「少しの間だから」といった理由でこの区画に自動車を停めると、本当に必要とする人が使えなくなり、駐車場の使用を諦めることにも…。正しく理解して、配慮したいものです。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。 ☎06-6821-5270 http://www.ainowa.jp/



あなたのお便りや写真をお寄せください。

皆さまからお送りいただいたお話をもとに新聞を作っています。どうぞ、あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
株式会社ダスキンの広報部
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

- 紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼品をお送り致します。
- お送りいただいた作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、作品のご返却は致しかねますのであらかじめご了承ください。

No.420からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます。

<http://www.duskin.co.jp/tanemaki/>

新潟県新潟市
西田 和子さん



みてもらおう!

読者の皆さまから
お送りいただいた素敵な1枚をご紹介します。



あっ!
おきこ見て!

鳥取県西伯郡
藪中 孝善さん



寒い日の
アイスもいれねえ

千葉県山武郡
小原 かおりさん



おんなじ
ポーズだね

トリ年も
もうすぐ
終わり

大阪府
箕面市
中西
容子さん

ターゲット
ロックオン!

0.5歳の
プリンセス

岩手県
奥州市
高橋 彩さん



お得な情報満載!
LINE@は
もう登録しましたか!?

毎日をちょっと楽しくする
情報をお届けします!
ぜひ友だち追加
してみてください!

LINE紹介
ページへ
アクセス!!



この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行・編集: 広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】
お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。
個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.co.jp